



大谷学会 研究発表会

日時

10月26日(金)

13:00~16:10 (開場 12:30)

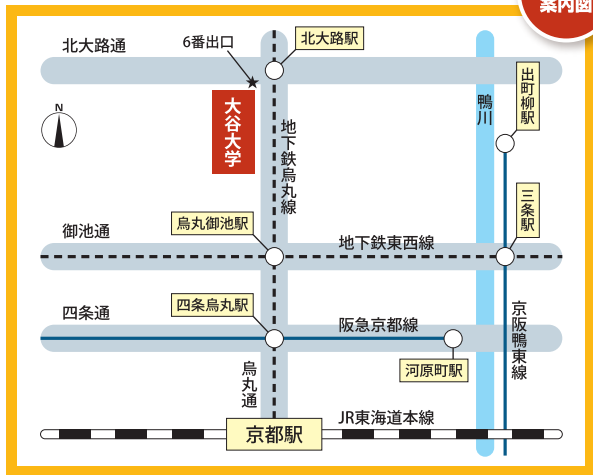
入場無料 事前申込不要

会場

大谷大学メディアホール (響流館3階)

〒603-8143 京都市北区小山上総町
(地下鉄北大路駅6番出口すぐ)

会場案内図



13:10~

安田 誠人

教授 [障がい児保育/特別支援教育]



知的障害のある子どもに対する「就学支援システム構築」の現状と課題 —子どもに寄り添った就学支援についての検討—

知的障害のある子どもの「就学支援」は、就学前後機関での連携体制の構築や情報共有ツールの作成が中心であった。本発表では日本における「就学支援」の展開を概観し、昨今の「就学支援」の課題を指摘する。そして子どもに寄り添った「就学支援」について考えたい。

13:50~

鈴木 寿志

教授 [文化地質学]



文化地質学の提唱

明治期にドイツから輸入された地質学は、理系学問として発展してきた。しかし地質災害が頻発する日本において、人々の大地に対する見方は全く異なる。地質学と人文科学の学際分野を提唱し、本的地質学の在り方を探る。

14:40~

箕浦 暁雄

准教授 [仏教学]



勇気から起こる風 —アピタルマにおける信仰についての整理と解釈—

苦行を続けるなら命を落としてしまうと悪魔が囁きます。ゴータマはこう応じます。私には信仰がある。なぜ命のことを尋ねるのか。勇気から起こる風は河の流れをも干上がらせるだろう。私の身体の血がどうして干上がらないだろうか。この經典の言葉から出発して、アピタルマ文献により信仰の意味を確かめます。

15:20~

藤原 正寿

准教授 [真宗学]



懺悔道としての浄土真宗

親鸞開頭の仏道は、本願力の回向を自覚自証する道である。ところが私たちは、「かの因を建立せることを了知することあたわざる」と言われるとおり、法藏菩薩が浄土の因である誓願をなぜ超発されたのかを知ることがない。その自身の在り方を懺悔する仏道が浄土真宗である。この意義を確かめたい。

Be Real
寄りそう知性

お問い合わせ先

大谷大学 教育研究支援課 TEL.075-411-8161 E-mail:o-gakkai@otani.ac.jp

詳しくは大谷大学の
Webサイトをご覧ください。

大谷大学

検索